

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

第7期介護保険事業計画に記載の内容				令和2年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標(事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
①自立支援・介護予防・重度化防止	<p>○平成17年度以降、総人口が減少しているが高齢者人口は増加。現在、高齢化率は30%を超えている。</p> <p>○生活習慣病による受診率が65歳以降増加。介護や介助が必要になった主な原因は脳血管疾患が約3割、骨折・転倒は約2割、次いで心臓病が多い。生活習慣病予防対策とともに、身体機能の維持・向上や介護予防、重症化予防が重要である。</p> <p>○高齢者が高齢者同士で支え合う場づくり、身体機能の維持向上が図れる場づくりの提供と拡大及びそこに参加する高齢者を増加させることが課題である。</p>	<p>住民主体の通いの場を充実させ、人と人の繋がりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりの推進</p>	<p>&lt;指標&gt;</p> <p>1. 2025年度までに通いの場への参加者数が高齢者人口の1割(指標:2600人)※2025年高齢者人口推計26,539人</p> <p>2. 2025年度までに住民主体の通いの場が人口1万人に対して10か所(指標:80か所)※2025年人口推計81,562人</p> <p>&lt;事業内容&gt;</p> <p>1. 介護予防に取り組むきっかけづくり(ロコトレ講座、介護予防教室)を行う</p> <p>○ロコトレ講座 H29実績 開催回数300回 参加者数10,044人 H30実績 開催回数280回 参加者数9,231人 R01実績 開催回数255回 参加者数8,273人</p> <p>○介護予防普及啓発事業 H29実績 開催回数80回 参加者数1,044人 H30実績 開催回数22回 参加者数288人(前年度と計上の方法を変更したため、実績減少) R01実績 開催回数18回 参加者数165人</p> <p>【目標】①参加者数の増加 ②介護予防普及啓発事業については開催回数も増加</p>	<p>○ロコトレ講座 開催回数192回 参加者数4,741人</p> <p>○介護予防普及啓発事業 開催回数16回 参加者数198人</p>	◎	<p>・コロナのため、計画どおり開催できなかった。</p> <p>・ロコトレ講座は人気があり、毎回定員を超える申し込みがあるが新規の参加者が少ないため、新規参加者の拡大が課題である。講座終了後は、包括が支援することで、自主活動のサークルに移行できるようになっている。住民が自ら介護予防に取り組める支援を継続していく必要がある。</p> <p>・参加者拡大及び地域の住民同士のつながりと介護予防活動の推進を図るため、全小学校区での講座を目標にしている。R3年度で全小学校区での講座開催の見込み。</p>
			<p>2. 住民主体の通いの場の立ち上げと継続を支援する</p> <p>○通いの場 H29実績 登録団体数10か所 H30実績 登録団体数11か所 R01実績 登録団体数19か所</p> <p>○通いの場代表者交流会※H30より開催 H30実績 開催回数1回 参加者数27人 R01実績 開催回数1回 参加者数39人</p> <p>○歯科衛生士派遣(オーラルフレイル予防)※H30より開催 H30実績 開催回数1回 R01実績 開催回数12回 参加者275人</p> <p>【目標】前年度より増加</p>	<p>○通いの場 登録団体数19か所</p> <p>○通いの場代表者交流会 中止</p> <p>○歯科衛生士派遣(オーラルフレイル予防) 開催回数2回 参加者数29人</p>	◎	<p>・通いの場については、引き続き、包括と生活支援コーディネーターが連携し、把握する。また、立ち上げ支援も行い、数を増やしていく。</p> <p>・オーラルフレイル予防については、サロンや通いの場で歯科衛生士が健康教育を行った。コロナのため、実施数が減少した。次年度も引き続き周知啓発を行う。</p> <p>・通いの場の継続支援として、毎年実施していた代表者交流会は、コロナの為中止。定期的に代表者と連絡をとり、状況把握等を行った。コロナ対応や、通いの場の実施継続に苦慮する団体が多いため、定期的な情報交換の場は、必要である。</p>
②給付適正化	<p>○要介護認定における認定調査については、市の職員だけでなく、民間事業者にも委託しているため、調査内容のチェックが必要である。</p> <p>○ケアプランについて、保険者からの視点による確認・指導が必要である。</p> <p>○国保連からの一覧表を元に、縦覧点検、医療情報との突合をし、内容について疑義がある場合は国保連に対し、過誤調申し立て等を行っている。</p> <p>○利用者に対し、介護給付通知を送付し、利用内容について確認してもらっている。</p>	<p>ケアプラン点検の定期的な実施</p>	<p>ケアプラン点検の開催 H29 19回(実績値) H30 54回(実績値) R01 51回(実績値) R02 55回(目標値) R03 55回(目標値)</p>	<p>ケアプランを抽出して点検する。 ケアプラン点検回数: 令和2年度 48回 (地域ケア個別会議30回+実地指導18回)</p>	◎	<p>目標値には達しなかったが概ね達成することができた。ケアプランの様々な事案を把握し、域内でどのような傾向があるかを理解するためにケアプランの抽出方法の適正化に向けて、研究及び検討していきたい。</p> <p>また、ケアプランの訪問点検については、事業所実地指導時の同時実施に向けて検討していきたい。</p> <p>また、各帳票の活用については、現在すべての項目が未活用であるため、今後どのような項目を活用していくかを含めて検討していきたい。</p>